

「アクア・ネクサスカーボン-プラットフォーム」

第 18 回講演会・懇談会（案）

日 時 令和 8 年 2 月 10 日（火） 15：00～17：00
（講演会 15：00～17：00、情報交換会 17：15～18：45）
場 所 国際科学イノベーションセンター(AICS) 2 階セミナースペース
対面開催（配信のみ Zoom 併用）14：30 より受付開始

<講演会・懇談会プログラム>

司会：藤重 雅嗣（信州大学工学部 特任教授）

15：00～15：05 開会挨拶

AxC-PF 会長 香山 瑞恵

15：05～15：50 講演 1

中央大学理工学部 教授 山村 寛 氏

「PFAS 課題の整理と分解・無害化技術の現状」

15：55～16：40 講演 2

大豊工業株式会社 篠原 BASE 新事業開発 室長 堀越 直 氏

「FO 膜の製造現場での活用事例（アクアブレイナ）について」

16：40～16：50 事務局から連絡

AxC-PF プロジェクトインキュベーター 藤重 雅嗣

16：50～17：00 閉会挨拶

信州大学 副学長（特命戦略（新産業創出、スタートアップ）担当） 杉原 伸宏

<情報交換会>

17：15～18：45 AICS-3F コミュニケーションルーム

会費：2000 円（予定）



主催：アクア・ネクサスカーボン-プラットフォーム

<趣旨>

令和7（2025）年度は、開発した極超低压逆浸透（RO）膜について国内外で実証・評価を実施するとともに、RO 膜モジュールのビジネス化に向けた取組も検討してきました。ビジネスとしての可能性の評価と実証（PoC）を行い、来年の春にいよいよ起業する予定としております。

浄水器における極超低压 RO 膜の社会への投入を目指していますが、日本国内でも PFAS 問題（2026 年 4 月から水質基準に新たに追加：基準値 50ng/L）への対応が求められており、RO 浄水器が普及する可能性があります。

今回は、PFAS 関連で 2025 年度 NEDO 先導研究プログラムに採択された、中央大の山村先生と FO 膜で排水処理応用を実施している 2 名の講師にお願いし、本講演会を企画しました。開発している分離膜について考える機会とできると幸いです。

対面開催・オンライン併用とし、情報交換会も予定しております。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。